

第Ⅰ回社会教育委員の会議 会議録

日 時：令和7年5月29日（木）午後7時～午後8時30分

場 所：学びの里「めいりん」ランチルーム

出席者 委員8名（別添名簿のとおり）、事務局2名

○委嘱状交付

Ⅰ 開会あいさつ

委員長

令和6年度の会議において議論を行い生涯学習推進会議と社会教育委員の会議が統合されることとなり、今年度の初めての会議である。

人口減少、少子高齢化などを受けた時代の転換期であり、会議体の統合はひとつの選択肢であると理解している。新たに加わった方も含めて、委員みんなで力を合わせて社会教育委員の責務を果たしていきたい。その責務の一つとして、市民の意見を拾い上げて教育委員会へ届けることがある。委員それぞれが活躍されている場で聞いた意見を会議の場などで伝えていただきたい。

また、委員の皆様自らが楽しかったと思える、ざっくばらんな意見交換ができ、交流の場が広がったと感じられる会議にしたいと考えている。よろしくお願いします。

委員自己紹介

2 社会教育委員について 資料No.1

事務局説明

3 副委員長の選出について

副委員長 山本耕平 委員

【委員からの意見】

- ・統合された生涯学習推進会議の会長であった山本委員にお願いすることが良いと思う。
- ・上記意見に全委員が賛同し、山本委員を副委員長に選出。

4 議 題（進行 委員長）

（Ⅰ）令和7年度 行事予定について 資料No.2

事務局説明

（Ⅱ）委員の推薦について

- ・福井県社会教育委員連絡協議会

評議員 ：各市町の代表 佐々木委員長

奥越ブロック長：大野市 ※R7・8が大野市

- ・大野市社会教育功労者表彰選考委員（2名）

※正副委員長があたる

- ・大野市男女共同参画推進委員会委員（1名、令和7年～2年間）

※R5・6は委員長（正式依頼は未達）

推薦依頼があったら、山本副委員長を推薦する。

- ・大野市生涯学習人材活用促進会議委員（1名、令和6・7年度）

桑盛善一委員に変更して推薦する（嶋委員が任期中であるが6月に交代予定のため）

（3）令和6年度生涯学習主要事業実施報告について資料No.3

事務局説明

【委員からの質疑】

・職業訓練センターで実施している学び直し講座の受講者がその内容についての意見、苦情などがある場合の窓口はあるか。

（回答）生涯学習・文化財保護課で受け付ける。

- ・人権啓発講演会の来場者がもっと増えると良い。

（回答）人権に関する取組みは重要である。周知に努める。委員の皆様も書く団体等での周知の協力願う。

（4）その他

【委員からの発言】

- ・初めて委員となった。今年度、このメンバーで何かできるのか情報を調べながら考えたい。
- ・新しい委員からの固定観念にとらわれない斬新な意見を期待している。
- ・選出団体の会員数が平成26年からこれまでに約4,400人から約2,400人に減少した。新たな会員もなかなか入ってもらえない。このような状況でも自分ができることで周りに影響を与えられたらと思う。
- ・社会教育委員の業務は深く、範囲も広く、大切な役割である。AIなどが発達する世の中だが、生涯学習フォーラムでは手作りで市民に伝えられる内容にしたい。
- ・1970年代に比べると労使関係が良好になり生活のレベルが上がっている。また第2層協議体で各地区に助け合いのグループができています。
- ・男女共同参画は今は当たり前のことであり、わざわざ議論する会議体は不要ではないかと思っている。
- ・隣人を助けられる人は、自分に余力がある人。団体に入らない人はまわりと関わらずとも満足していると感じている。周りに目を向けることが減ってきているのではないか。そういう状況に対して何ができるのかを社会教育を通じて学べれば良い。
- ・生涯学習推進会議から引きついだ生涯学習フォーラムを良い行事にしたい。

5 閉会あいさつ（副委員長）

社会教育の中で子どものころから身につけるべきものを身につけられれば良い。一方で大人になり仕事をして生きていければそれだけで良いのかと言えば、私たちが求めているものではない。地域の中で顔をあわせて、楽しく、時には意見をぶつけ合いながらやっていきたいと思う。社会教育委員の活動をどのように市民に還元していけるかを委員の皆様と協力して考えていきたい。